

医療や暮らしに関する 悩みはありませんか？

認知症の人には
どう接したら
いいのかな



介護の相談にのってほしい



がんの治療や
緩和ケアについて知りたい。
どこに聞けばいいの？

お薬、
これとこれは
一緒に飲んでも
大丈夫？



暮らしの保健室



バス

- 新宿駅西口方面から
宿 74 系統 東京女子医大前行き
- 大久保駅・新大久保駅方面から
飯 62 系統 都営飯田橋駅前行き
橋 63 系統 新橋駅前行き
大久保通り下車

電車

- 都営大江戸線・副都心線
東新宿駅より徒歩 5 分
- JR 新大久保駅より徒歩 10 分

暮らしの保健室

〒162-0052 東京都新宿区戸山 2-33
戸山ハイツ 33号棟 125 (1階 商店街)
TEL / 03-3205-3114 FAX / 03-3205-3115
E-mail : hokenshitu@kjc.biglobe.ne.jp

月～金 9時～5時

土日祝日はイベント時のみオープン

平成 26 年度は毎月第 4 土曜日がん療養相談 10 時～2 時

運営 / (株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション

NPO 法人 白十字在宅ボランティアの会

住みなれたまちで

すこやかに

暮らしつづける

あなたを応援する

暮らしの保健室



誰に聞けばいいかわからない
困りごとはありませんか？



お医者さんには
こう言われたけれど、
意味がよく分からない...



主人が退院するのだけれど
往診してくれるお医者さんは
どこにいるのかしら？

こういうことは
お医者さんに
どうやって聞けば
いいのかな？



地域の医療機関について
知りたい

暮らしの保健室 は、地域にお住まいの方々の
暮らしや健康、医療、介護のご相談をお受けします。

- 地域のみなさまからの健康に関するご質問、生活にかかわるさまざまな相談に応じます。地域の医療・介護状況を熟知した相談員（医療・介護従事者）が当番で担当いたします。
- 医療コーディネーターとしての機能を持ちます。在宅医療も理解した看護師が相談を受け、病院と地域のお医者さんの橋渡しをします。
- がん患者さんとそのご家族の相談にのります（平日 13 時～16 時 30 分 受付）。
- 地域包括支援センターとも連携し、地域のみなさまを支援する窓口となります。
- 地域の方々や、診療所のお医者さんに、介護、福祉の情報を提供いたします。お医者さんからのご相談にも適切に対応できる窓口を目指します。

お茶を飲みながらゆったりすごせる 地域のみなさまに開かれた場所です



ボランティアスタッフが
お迎えします
地域の医療機関の検索も
できます



健康や地域医療、
介護に関する勉強会を
開催します

薬剤師がお薬の
飲み合わせの
相談に応じます
（金曜午前中）



暮らしの保健室

〒162-0052 東京都新宿区戸山 2-33
戸山ハイツ 33 号棟 125（1 階 商店街）
月～金 9 時～5 時（土日祝日はイベント時のみオープン）
平成 26 年度は毎月第 4 土曜日ががん療養相談 10 時～2 時

ごあいさつ

(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーションは、長年の訪問看護実践を通して、地域の在宅医療・福祉の経験を積んでまいりました。

スタッフ一同、すべてのご利用者様が自らの尊厳を守りながら、住み慣れたご自宅での生活が続けられるよう、生活リハビリテーションも含めてお手伝いさせていただきたいと願っています。

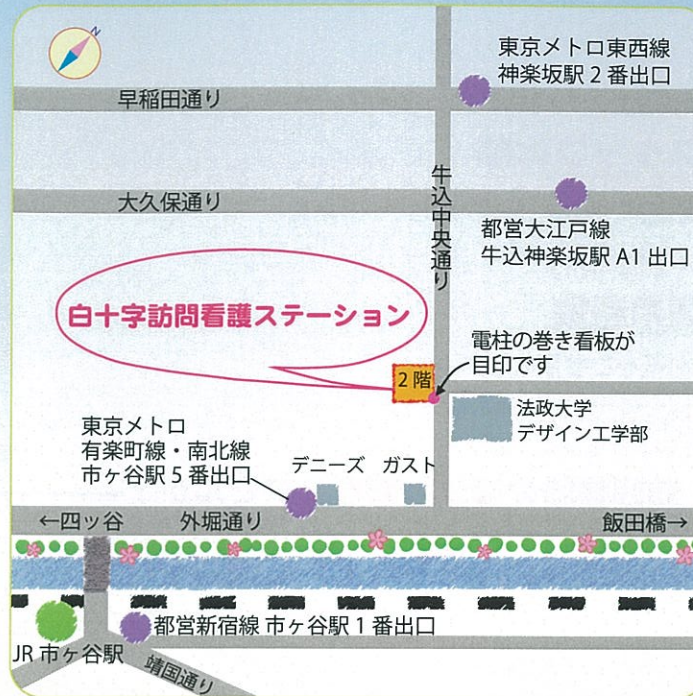
病院やクリニック、施設との連携を図り、医療と介護の橋渡しをしながら、チームケアの調整もおこなっています。

また、ターミナルケアにも積極的に取り組んでおります。実践の中で学んだ「ホスピスマインド」を活かし、最期まで自分らしく生きたいと願う方々の看護を実践していきたいと考えています。

(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション
統括所長 秋山正子

最寄り駅のご案内

1. 東京メトロ 有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅
5番出口より 徒歩3分
2. JR「市ヶ谷」駅より 徒歩10分
3. 都営新宿線「市ヶ谷」駅 1番出口より 徒歩10分
4. 都営大江戸線「牛込神楽坂」駅 A1出口より 徒歩10分
5. 東京メトロ東西線「神楽坂」駅 2番出口より 徒歩20分



(株) ケアーズ 白十字訪問看護ステーション

電話 : 03 - 3268 - 1815

FAX : 03 - 3268 - 1629

Email : hakujuji@muse.ocn.ne.jp

住所 : 〒162-0842

東京都新宿区市谷砂土原町 2-7

ディアコート砂土原 204

訪問看護のご案内



株式会社ケアーズ 白十字訪問看護ステーション

ご利用いただける方

主治医から訪問看護サービスの必要を認められた
医療保険および介護保険の被保険者
(介護保険の認定で、非該当の方もご相談に応じます)

訪問看護サービスの内容

- 1 身体の清拭、床ずれの予防と処置、リハビリテーションなどの実施と助言
- 2 食事や排泄のお世話
- 3 病状の観察
- 4 医師の指示による病気の手当て、膀胱カテーテルの管理などの医療処置、および検査
- 5 ご家族に対する介護上の助言
- 6 ご利用者様が寝たきりにならない環境、介護用品の紹介など、生活環境を整えるお手伝い
- 7 寝たきりにならないための支援
- 8 専門員による生活リハビリテーション

お問い合わせ・お申し込み先

(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション

電話 : 03 - 3268 - 1815

FAX : 03 - 3268 - 1629

Email : hakujuji@muse.ocn.ne.jp

業務時間

月曜日～金曜日 : 午前9時～午後5時(電話受付時間は午後6時まで)

土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月4日)・夏季(8月13日～8月16日)は休み。

※緊急時は電話等による24時間連絡可能な体制となっています。

訪問回数

- A. 介護保険の場合 : ケアプランに基づく回数
- B. 医療保険の場合 : 疾患・病状に応じた回数

スタッフ体制

保健師、看護師、理学療法士、事務員

利用料金

別紙をご参照ください。

個人情報保護に関して

(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーションは、当ステーションのご利用者様、ご家族様、当ステーションに関係するすべての方に関する情報の取り扱いについて、適切な措置を講じております(別紙をご参照ください)。

訪問看護の職場体験をしませんか? —— 東京都訪問看護教育ステーション事業実施中!!

東京都では訪問看護師の確保・育成・定着対策に取り組んでおり、その一環として、東京都訪問看護教育ステーション事業を実施しています。東京都が指定した「東京都訪問看護教育ステーション」において、一人ひとりの経験やスキルに応じた同行訪問・手技演習等の研修や職場体験ができます。白十字訪問看護ステーションも、その一つです。

対象者 : 訪問看護に関心のある看護職の方。医療機関勤務中、離職中、他の訪問看護ステーションに在職中でも申込みできます。

内容 : オリエンテーション、同行訪問、手技演習、体験する方の経験・知識・技術に応じた実践的な研修を実施します。カンファレンスや勉強会等への参加なども可能です。

期間 : 1日～5日間程度のコースから選択できます。

詳しくは当ステーションのホームページまで <http://www.cares-hakujuji.com>

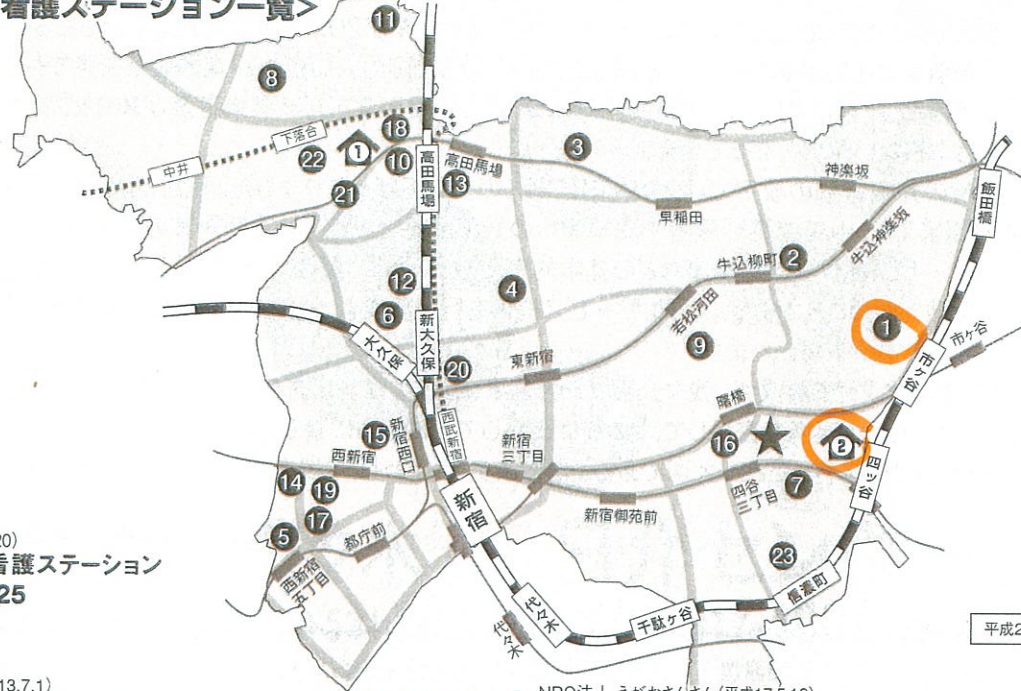
お問い合わせ : (株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 担当: 服部 電話 : 03 - 3268 - 1815 E mail : hakujuji@muse.ocn.ne.jp



訪問看護

ご自宅での安定した療養生活を支援するために、訪問看護ステーションの活動は、平成4年4月からスタートしています。新宿区内には、現在24か所の訪問看護ステーションから、かかりつけ医とともに(医師の指示書必要)訪問看護師が訪問看護を行っています。介護保険だけでなく、医療保険でも訪問看護が利用できます。お近くのステーションへ是非お気軽にご相談ください。

<新宿区内訪問看護ステーション一覧>



公立
新宿区立(平成6.5.20)
★新宿区訪問看護ステーション
TEL.5312-9925
FAX.3226-2237

- | | |
|---|--|
| <p>民間
(株)ケアーズ(平成13.7.1)
① 白十字訪問看護ステーション TEL.3268-1815
FAX.3268-1829</p> <p>② 神楽坂訪問看護ステーション TEL.5225-4799
FAX.5261-9899</p> <p>③ 早稲田訪問看護ステーション TEL.5292-6870
FAX.5292-6880</p> <p>④ 戸山訪問看護ステーション TEL.5272-4118
FAX.5272-4119</p> <p>⑤ 西新宿訪問看護ステーションつばさ TEL.5365-1755
FAX.5365-1766</p> <p>⑥ 在宅看護研究センター付属訪問看護ステーション TEL.5386-0662
FAX.5386-0662</p> <p>⑦ セコム医療システム(株)(平成11.11.15)
セコム新宿訪問看護ステーション TEL.5368-6078
FAX.5368-6079</p> <p>⑧ 社会福祉法人 聖母会(平成11.12.1)
聖母訪問看護ステーション TEL.3951-3822
FAX.3951-3839</p> <p>⑨ (株)日本生科学研究所(平成12.1.4)
日生訪問看護ステーション TEL.6380-1814
FAX.6380-1815</p> <p>⑩ (有)訪問看護ステーションふるさと(平成12.6.1)
訪問看護ステーションふるさと TEL.5389-5376
FAX.5389-5634</p> <p>⑪ (株)リーブ(平成20.1.1)
目白訪問看護ステーションサテライト TEL.5988-4577
FAX.5988-4588</p> <p>⑫ (株)ジャパンケアサービス(平成19.11.1)
ジャパンケア百人町 TEL.3369-8232
FAX.3365-0782</p> | <p>⑬ NPO法人 えがおさん(平成17.5.16)
訪問看護ステーションさんさん TEL.3209-8668
FAX.3209-2033</p> <p>⑭ 訪問看護ステーション 松久理 TEL.6638-6680
FAX.6276-4256</p> <p>⑮ 訪問看護ステーション ベビーノ TEL.6279-3825
FAX.6279-3826</p> <p>(株)日本在宅ケア教育研究所(平成23.3.15)
⑯ ナースステーション東京 新宿事業所 TEL.5363-4001
FAX.5363-4002</p> <p>⑰ きらら訪問看護ステーション(平成24.9.1)
サテライト西新宿 TEL.042-794-2255
FAX.042-794-2256</p> <p>⑱ リハビリ訪問看護ステーション(平成25.6.1)
ハビネスケア TEL.5332-6639
FAX.5332-6636</p> <p>Recovery International(株)
⑲ 訪問看護ステーション リカバリー TEL.5990-5882
FAX.5990-5883</p> <p>株式会社新宿メディカルケア(平成26.4.1)
⑳ 訪問看護ステーション みらい TEL.3200-0205
FAX.6205-5224</p> <p>(平成22.12.1)
㉑ ガイアリハビリ訪問看護ステーション新宿サテライト TEL.0120-507-369
FAX.3556-3309</p> <p>一般社団法人bliss(平成26.6.1)
㉒ 訪問看護ステーション 結わい TEL.6304-0470
FAX.6304-0471</p> <p>(平成26.8.1)
㉓ よつや訪問看護リハビリステーション TEL.6457-4866
FAX.6457-4867</p> <p>① 複合型サービス わいは ② 坂町ミモザの家(仮称)
目白訪問看護ステーション ※詳細は、右ページ参照</p> |
|---|--|

平成27年5月1日現在

<訪問看護の内容>

<p>病状の観察 医師の指示による診療の 補助業務(点滴など)</p> <p>看取りの (ターミナル)ケア</p>	<p>介護度にかかわらず病状観察や療養生活に不安のある方を 専門家の目で見守り、自立支援を行います。</p> <p>ご家族等への 介護支援・相談</p>	<p>清拭・洗髪・ 入浴の介助等</p> <p>床ずれの予防と手当て 排泄に関する相談や介助</p>
	<p>食事(栄養) 指導・相談</p>	<p>リハビリテーション</p>

白十字訪問看護ステーション

東京都より「東京都訪問看護教育ステーション」の指定を受け、
取組んでいます!!

訪問看護の体験・研修・相談をしたい方はお問い合わせください。

Tel.03-3268-1815 担当: 服部

看護小規模多機能型居宅介護

病院だけでもない、施設だけでもない。
「看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)」は
ご自宅での療養生活を、看護と介護の両面からサポートします。

今までの療養生活には、病院へ入院するか、介護施設に入所するか、もしくは様々な不安を抱えつつも
在宅で頑張るか、という選択しかありませんでした。
「看護小規模多機能型居宅介護」は、慣れ親しんだご自宅で一日一日の療養生活を大切に過ごすため
にできた、医療と介護の専門家が地域で見守る新しいシステムです。24時間365日受ける事ができます。

複合型サービス わいは

新宿区上落合1-23-19

TEL 03-6908-6036

坂町ミモザの家(仮称)

新宿区坂町17番10(予定)

TEL 03-3268-1815
(白十字訪問看護ステーション)

平成27年9月
開設予定

広告ページ © 広告についてのお問い合わせ、資料請求の際には「ハートページを見た」とお伝えください。

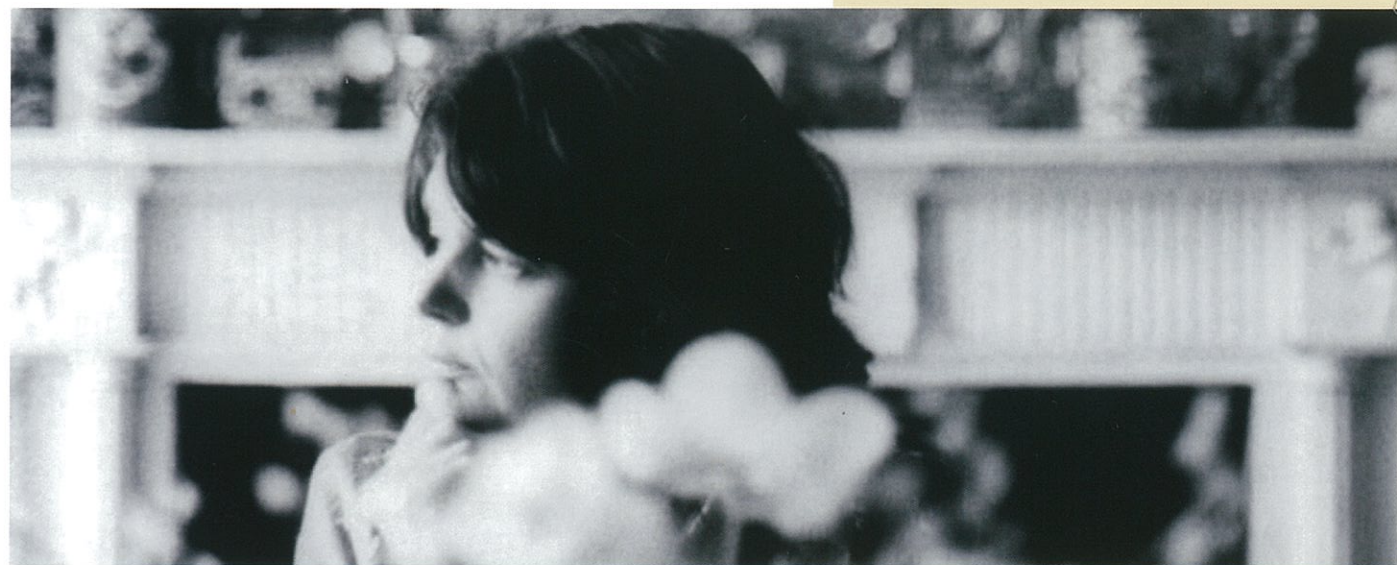


maggie's tokyo project

がん患者とその家族・友人が自分の力を取り戻す場所
「マギーズがんケアリングセンター」を東京に。



maggie's cancer caring centres



マギーズセンターの設立者

マギー・ケズウック・ジェンクス女史

- 1988年、47歳で乳がんになり、5年後の1993年、骨・肝臓・骨髄に転移
- 1995年、7月8日、享年53歳。二児の母
- スコットランド出身、幼い頃、香港で育ち、中国を度々訪問
- 造園家、著書に『中国庭園』等
- 夫のチャールズ・ジェンクス氏(共同設立者)は世界的建築家で建築評論家
- 余命、数ヶ月と伝えられたが、その後18ヶ月間、懸命に生きる

造園家で造園史家でもあったマギー・K・ジェンクス氏は、乳がんが再発し「余命数ヶ月」と医師に告げられた時、強烈な衝撃を受けたといいます。にもかかわらず、次の患者がいるのでその場に座り続けることが許されませんでした。その時、がん患者のための空間がほしい。あと数ヶ月と告げられても生き続ける術はないかと、担当看護師のローラ・リー(現CEO=最高経営責任者)と必死に探したそうです。

「自分を取り戻せるための空間やサポートを」

マギーは、がん直面し悩む本人、家族、友人らのための空間と専門家のいる場所を造ろうと、入院していたエジンバラの病院の敷地内にあった小屋を借りて、誰でも気軽に立ち寄れる空間をつくりました。その完成を見ずに1995年、亡くなりましたがその遺志は、夫で建築評論家のチャールズ・ジェンクス氏に受け継がれました。1996年に、「マギーズキャンサーケアリングセン

ター」としてオープンしました。徐々に全英の人達の共感を得て、2014年現在では英国で15カ所のセンターが運営され、7ヶ所で開設に向けての準備が進んでいます。評価は海外にも広がり、2013年、英国外で初めてとなるセンターが香港に開設されました。

がん患者や家族、医療者などががんに関わる人たちが、がんの種類やステージ、治療に関係なく、予約も必要なくいつでも利用することができます。マギーズセンターを訪れるだけで人は癒され、さまざまな専門的な支援が無料で受けられます。がんを悩む人は、そこで不安をやわらげるカウンセリングや栄養、運動の指導が受けられ、仕事や子育て、助成金や医療制度の活用についてなど生活についても相談することができます。のんびりお茶を飲んだり、本を読んだりするなど自分の好きなように過ごしていてもいいのです。マギーは、そこを

第二の我が家と考えました。

建築をコーディネートするジェンクス氏は、マギーが残した「建築概要」に従うように建築家に設計を依頼。そこを訪れる人は、自らが尊重されているような気持ちになります。共に悩んだローラ氏は、がん患者や家族、友人らの心を理解し、さまざまなケアを組み立てています。

マギーズセンターのように、がんと向き合い、対話できる場所が、病院の中にはない街の中にあること。それは本当に画期的なことです。「場」の持つ力は、医療分野のみならず建築分野の専門家の共感も得てきました。今、マギーズセンターには、世界中から多くの見学者がやってきています。

日本でも、こうした考えを実現したいと、今、私たちは立ち上がりました。ご協力いただけますと幸いです。

マギーズセンターの『建築概要』

- ◎ 自然光が入って明るい
- ◎ 安全な(中)庭がある
- ◎ 空間はオープンである
- ◎ 執務場からすべて見える
- ◎ オープンキッチンがある
- ◎ セラピー用の個室がある
- ◎ 暖炉がある、水槽がある
- ◎ 一人になれるトイレがある
- ◎ 280㎡程度
- ◎ 建築デザインは自由



buildings of maggie's

美術館のように魅力的であり、教会のようにじっくり考えることができ、病院のように安心でき、家のように帰ってきたいと思える場所。いずれの建物にも大きな窓があり、外の風景がよく見えるようにしている。建築とランドスケープが一体的な環境をつくり、患者の不安を軽減するという考え方に基づいている。

Edinburgh

設計: Richard Murphy



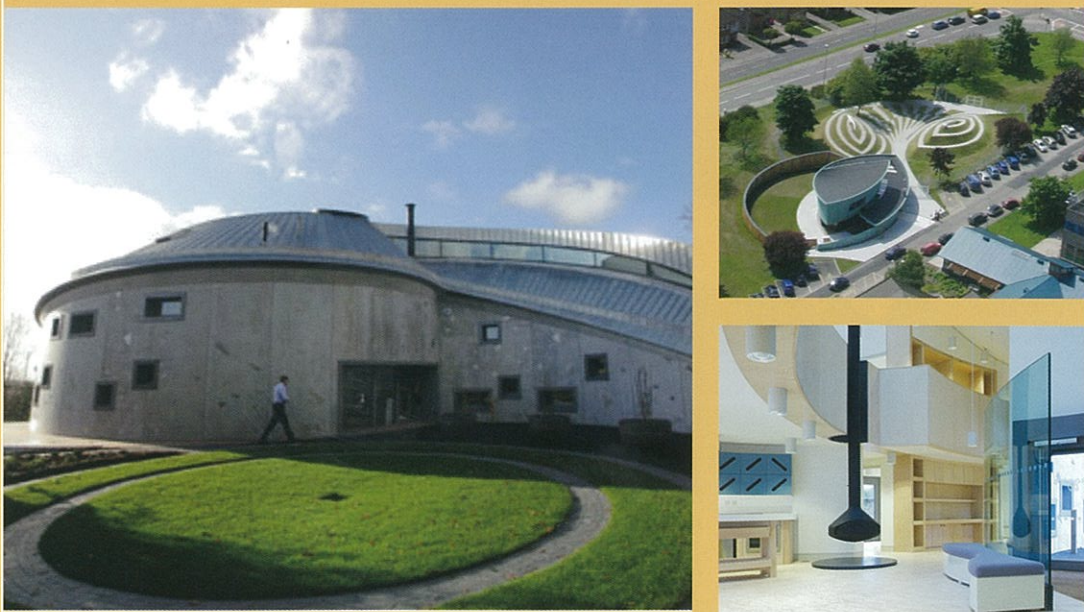
Fife

設計: Zaha Hadid



South West Wales

設計: 黒川紀章



London

設計: Rogers Stirk Harbour + Partners



共同代表

秋山 正子 Masako Akiyama



1950年秋田県秋田市生まれ
1973年聖路加看護大学卒業
株式会社ケアーズ・白十字訪問看護ステーション代表取締役、統括所長
特定非営利活動法人白十字在宅ボランティアの会理事長
新宿区介護サービス事業者協議会副会長 東京女子医科大学非常勤講師
■ 著作物など
「在宅ケアの不思議な力」「患者と家族のケアについて」「在宅看護の現状と課題」
「プロフェッショナル仕事の流儀」「どんときでも、命は輝く」(NHK総合)出演
社会貢献支援財団「平成21年度社会貢献者」受賞

看護大学を卒業後、主に臨床や看護教育に携わって来ました。19年後、二つ上の姉(当時41歳)のがん闘病経験から、これからは病院ではなく、もっと生活の場で過ごす事が出来たらと訪問看護を始めました。

それから20年を超え、この間がんの治療の様子が変わってきました。外来期間が長くなり、その間に十分な相談がどこでも受けられず、毎日の生活のちょっとした困りごとや病気についての悩みをざっくばらんに話せたり相談できたりするところがない。その状態で悶々としたまま時間が残り少なくなつて訪問看護に繋がってくる。もっといきいきとした日常が送れる時間があったのに、お薬のこのみの会話しかない病院の外来の現場…この実態を、同じ医療者として何とかならないものかと胸を痛めていました。

2008年11月、スピーカーの一人として参加した国際がん看護セミナーの席上で、イギリス・エジンバラのマギーズセンターのセンター長アンドリュー・アンダーソン看護師の発表に目を見張りました。「相談者が自分自身の力でものが考えられる」ようにサポートすること、「その力を取り戻せるような支援」が行われていること。今の日本のがん患者と家族のおかれている現状には、今すぐにも必要とされる「場」であり、「支援」であると思い、それから3か月後、仲間を募ってイギリス国内のマギーズ

センターを見学。その1年後にCEOであるローラさんを日本に招聘しました。

その後、マギーをモデルにした「暮らしの保健室」を立ち上げるなど、「日本にもマギーを」と、少しずつ仲間を増やす運動を続けてきました。

そんな中で5年が過ぎた時、鈴木美穂さんと出会うことができました。鈴木さん達がやってきたCueの活動は、まさにマギーで行われているような内容。医療者としての我々の運動と合致できれば、東京にマギーをという夢の実現も早まるかもしれないとの思いで、若い力、殊にがん体験者の、熱い思いや、そこを支援したい人たちの願いを合わせていけたらと強く思った次第です。

多くの方の御支援をお願いいたします。
長く温めてきましたマギーズセンターの実現の夢を、ここに東京で是非花開かせたいと思います。



暮らしの保健室



共同代表

鈴木 美穂 Miho Suzuki



1983年東京都世田谷区生まれ
2006年慶応義塾大学卒業 民放テレビ局社会部記者(厚生労働省担当)
2008年乳がん経験
若年性がん患者団体 STAND UP!!副代表
Cue!~Congratulations on your Unique Experience代表
■ 作品など
・ドキュメンタリー番組「伝えたい…24歳のわたしへ〜がんが教えてくれたこと」ディレクター
・ドキュメンタリー漫画「STAND UP!! ~がん患者には『夢』がある」(白泉社)出演

2008年5月、24歳のときに乳がんが見つかり、目の前が真っ暗になりました。

手術、抗がん剤、放射線、ホルモン治療、分子標的薬…治療のフルコースを受ける中、何よりも苦しかったのは、その先の未来が想像できなかったことです。「なぜ私だけが…」とどん底の気持ちになり、家族や友達に囲まれていてもどこか孤独で、不安で、死ぬことばかり考えて、うつ状態で闘病していました。

一番苦しかった頃の自分と同じような状況の人に、あの時欲しかった情報や居場所を届けたい—

なんとか暗闇から抜け出すことができた後、私なりに動き始めました。若くしてがんになった人を応援するフリーペーパーを作って全国のがん拠点病院に置いてもらうところから始め、今では250人以上の若年性がん患者が所属するSTAND UP!!

闘病中でも安心して参加できるヨガなどのクラスを提供するCue!

「ひとりじゃない」
そう思えることがどれだけ心強いことか。
ふたつの団体を立ち上げ、活動してきた中で、相談できる相手や同じ経験をした仲間と気軽に会える場づくりの必要性を

つくづく感じてきました。
そんな折、2014年3月にウィーンで行われた国際会議IEEPO (International Experience Exchange for Patient Organizations) で、マギーズセンターに出会いました。マギーズセンターは、まさに闘病中の私が一番欲しかったもの。これまでの活動の先にいつかつくりたいと思いついていた夢そのものでした。

その後すぐに、「日本にもマギーを」と活動してきた第一人者である秋山正子さんの存在を知って訪ね、お互いのチームに呼びかけてこのプロジェクトがスタートしました。

目標は、2015年度中にオープンし、2020年の東京五輪までに世界に誇れる“maggie's tokyo”を築くこと。一緒に盛り上げていただけたら嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。



STAND UP!! フリーペーパー



Cue!

看護師・医療医療相談・支援担当

梅田 恵・高田芳枝

広報担当

岡本峰子

建築・アート
コーディネーター

佐藤由巳子

渉外担当

重松加代子

事務局担当

神保康子

プロダクト担当

金そよん

IT担当

齊藤麻衣

プログラム開発・
運営担当

島野真希

事務局・寄付窓口担当

阪口祥代・鈴木和枝・山本亜紀子

supporters of maggie's tokyo project



垣添 忠生

公益財団法人 日本対がん協会会長

がん患者さんの闘病は総力戦といえましょう。手術、放射線治療、抗がん剤治療などに全力をあげるのはもちろんです。加えて、家族も含め、患者さんが互いに対話したり、リラックスできる場が、わが国にも是非必要です。マギーズセンターが正にそれだと思います。実現しましょう。



山崎 亮

コミュニティデザイナー

マギーズセンターのデザインが素晴らしいのは、単に奇抜なカタチを目指しているのではなく、周辺住民が施設の運営を応援したくなるようなデザインを意識していることです。これはデザインが持つ重要な力のひとつだといえるでしょう。日本のマギーズセンターが、同じくデザインの本質を見据えながら発展することを願っています。



園田 マイコ

モデル (乳がんを経験)

不安や恐怖を抱えるがん患者や家族が、この場所では、生きる勇気と元気をもらえるはず。「自分はひとりじゃない!」って。日本にもそんながん患者を受け止める「家」があったらいいな。



都 啓一

ミュージシャン (ろ肉性悪性リンパ腫を経験)

誰もが夢を持って笑顔で語ることができる。そんな場所があったら小さな夢が大きな夢になり、たくさんの笑顔が変わっていくことでしょう。決して独りじゃない! 小さな夢が大きな夢へ、そして現実へと変わっていく場所です。

✿ ご寄付のお願い

maggie's tokyo projectは、皆さまのご支援、ご協力によって支えられています。皆さまの思いをご寄付としてお預かりし、"maggie's tokyo"の実現のために活用させていただきます。お力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

✿ 1. お振込

下記お振込先にお振込をお願いいたします。

みずほ銀行
市ヶ谷支店 普通口座 2244837
maggie's tokyo
マギーズ トウキョウ

✿ 2. メールにてご連絡

お礼をお伝えたく、また寄付者名簿作成のため、【お名前・ご住所・ご寄付金額・お振込日】をご記入の上、下記メールまでお送りください。

メール: donate@maggiestokyo.org

※法人の方は事前にお問い合わせ下さい。

READY FOR?のクラウドファンディングを通じて、1100人もの方々から温かいご支援をいただくことができました! 心よりの感謝致します。ご支援いただいた皆様、ありがとうございました。

maggie's tokyo project

HP <http://maggiestokyo.org>
Facebook <https://www.facebook.com/maggiestokyo>
Twitter @maggiestokyo
Mail info@maggiestokyo.org

✿ メールマガジンのご登録

進捗状況やイベントのご案内などを月に一回程度配信します。ご希望の方は、タイトルに【メールマガジン登録希望】、本文に【お名前】をご記入の上、下記メールまでお送りください。

メール: info@maggiestokyo.org